

バスプロ・橋本卓哉× トヨタ・ランドクルーザー

これからの基準になるよ

日本全国をバスポートを牽引しながら、トーナメントを戦う
バスプロ界に、ランクルブームが巻き起こっているらしい。
その火付け役とも言える、橋本卓哉プロってどんな人？

文／高梨達徳(ナビカース) 写真／高柳 健



橋本プロのカー・テクニカルは、
先陣車はあるが、通常の釣りはもちろんのこと、新製品の
テストや、バスポートを使用し
たガイドなどを行っている。これ
から驚かなくなり、水温が上がっ
てきたら、今シーズンのバス釣
りが始まりますね！

ランチングでは 敵うクルマはないね



バスポートに搭載するギアは、日々進化している。魚群探知機や電動モーターはGPSとつながって、岸側のポイントも自動で移動してくれるそう。一方で重り入れは、懐かしいフィルムケースだ。



バスポートを後ろに取り付けたのが、一番カッコイイと話す橋本プロ。ランチングはある程度バスポートが水面に触れると浮き上がる仕組みとなっている。

テレビの釣り番組やブラックバス釣りのトーナメントで活躍する橋本卓哉プロは、ランクル専門店のフレックススプリームのサポートを受け、スペシャルカスタマイズが施されたランドクルーザー200に乗って全国を走りまわっている。その道中の後ろには、全長6mを超えるバス釣り専用のポートが牽引されている。「4WDのクルマじゃなくても、ハイパワーなエンジンを搭載したクルマならバスポートを牽引していくことは可能なんです。ただ、ランチングと言われる湖にバスポートを降ろす作業では、ランクルに敵うクルマはないと思います」

霞ヶ浦のような有名な釣りスポットならコンクリートのスロープが整備されているが、多くの湖は急な斜面の湖畔や未整備の場所が多いという。また、普段からあ



リフトアップに悪路をもともしないマッドテレメンタヤの組み合わせは、ポートを降ろす時に高い効果を発揮。また、ポートを開く際にフロント浮き上がりすぎないようにサスペンションは調整済みだ。傷や汚れに強い特殊な塗料を塗布し、ボートネットの上に釣り道具を掛けても傷を心配することはない。ルーフの上に設置された大型のライトは、IPFが橋本プロ専用でワンオフで製作したもの。薄暗い早朝での準備の際は、その明るさから他の釣り人が驚かすほどだ。

POINT!



自然の中で遊ぶスポーツで、一番気になるのは虫の侵入。迂回にドアを開けてしまおうと車の中が虫だらけ。なんてことを、電球をLEDに変えるだけで防げたのだ。「キャンプ好きは、ぜひともお試しあれ」



リアウィンドウに貼られているスポンサーロゴの多さが、プロとしての気配。フレックススプリームをはじめとした自動車関係はもちろん、釣り具メーカーなどたくさんの企業がスポンサーとして参入している。



「何を持ってプロと名乗るかは、その人次第なんだけど、自分の場合はスポンサーがついて仕事を始めて釣りだけでなく世間を立って時だね」と語る橋本プロ。トーナメントに参加し続ける理由は、男として負けられないからだそう。



トヨタ ランドクルーザー200

大型のバスポートを牽引できるパワーと、深いポイントまでたどり着ける高い走破性を持つ国産最速車。リフトアップやラインXなど、数え切れないほど手が加えられている。フレックドリームが橋本プロ専用を用意したスペシャルモデル。

これからは
動画の時代だよな

トップ釣具メーカーの「ダイワ」からスポンサーを受けている橋本プロ。ラグジュアリーには、常に15〜20本ほどロッドが積載して、あらゆるシチュエーションに対応している。

TAKUYA HASHIMOTO

トーナメントに参戦する傍ら、テレビ番組などにも出演し、バスフィッシングの普及に努めるなど、マルチに活躍中。近年は、YouTubeで配信されている動画が高い人気となっている。

